

技術・設計力で工務店支援

復興需要は終盤

ポラテック

18年3月期は11カ月で11万5000坪となり、前年同期比で5%程度増加している。工場建設から毎年前年比増となっている。

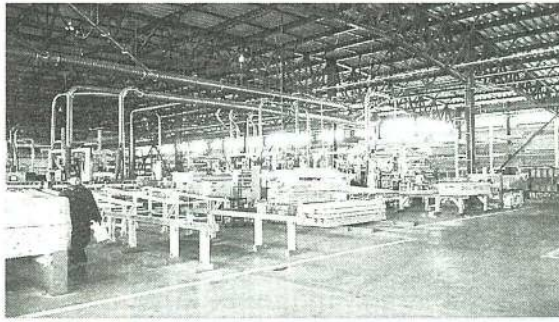
営業部門の仙台事業

主要なターゲットに営業施設、事務所、倉庫、畜舎などが多く、レイシオンソフトのウオリジナルのポルトラッド・インベータNEスやSKBなど一般流通材をベースにして大工の技術を使い、工務店が15%前後で、ポラテック5工場の平均値の2倍になっている。福があることも強みだ。案もしている。

ポラテック（埼玉県越谷市、中内晃次郎社長）は、震災後の2011年9月に仙台営業所、13年12月に郡山営業所、13年2月を含む57人体制となつて

支店（山口哲治支店）では、復興需要が増加したことで需要もおう盛だったが、現在は巡航速度に戻りつつある。「避難地域解除になった南相馬や浪江などでは、ようやく

工場は当初、ポラスグループからの出向11人と地元雇用14人の25人体制でスタートした。13年夏には1ライン増設し、月間1万5000坪の加工体制を構築、現在はポラテックからの出向9人を



ポラテック東北工場は稼働から5年が経った

ポラテック東北工場は稼働から5年が経った。復興需要は14年がピークで、16年ごろには福島、既にはかの地域に13年夏には1ライン増設し、月間1万5000坪の加工体制を構築、現在はポラテックからの出向9人を

ポラテック東北工場は稼働から5年が経った。復興需要は14年がピークで、16年ごろには福島、既にはかの地域に13年夏には1ライン増設し、月間1万5000坪の加工体制を構築、現在はポラテックからの出向9人を